

長瀬町の今後の学校のあり方について

長瀬町では、令和2年度から学校のあり方検討委員会を設置し、学校の適正規模、適正配置等について協議を重ねています。

今回は、令和3年3月に保護者アンケートを実施をしましたので、その概要と集計結果の一部につきまして、お知らせします。

なお、全体の集計結果につきましては、町ホームページに掲載するほか、教育委員会窓口でもご覧いただけます。

○ 調査の目的

児童生徒数の推移を踏まえ、長瀬町立小中学校において、将来にわたりより良い教育環境を維持するため、児童生徒にとってどのような教育環境が望ましいかについて、保護者等の意識を明らかにし、長瀬町学校のあり方検討委員会において、町内小中学校の今後の方向性をまとめるための基礎資料とすることを目的に調査をしました。

○ 調査対象

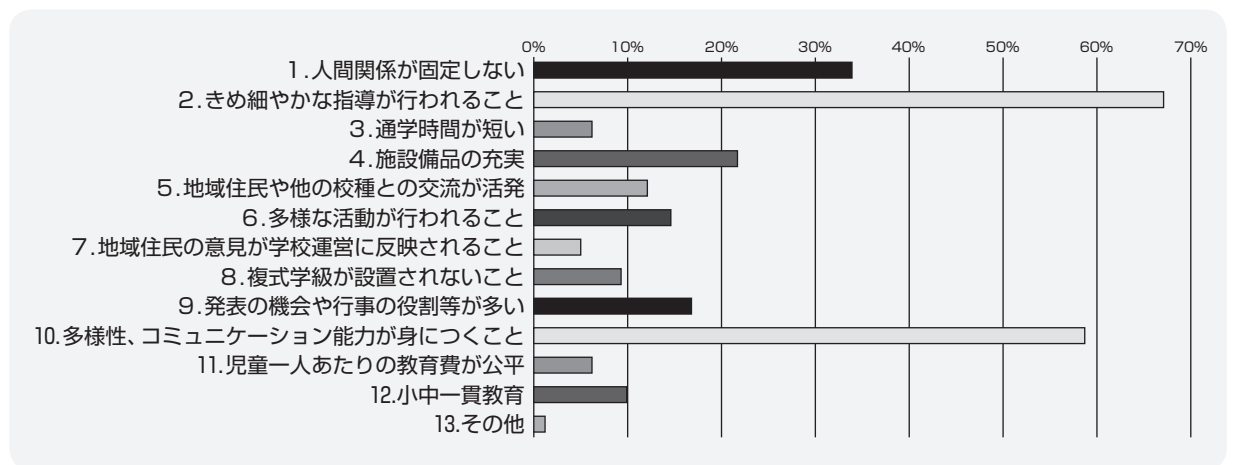
町立小・中学校に通学している児童生徒の保護者、長瀬町立小学校に就学する予定の町内幼稚園、保育園に通園している園児の保護者

○ 回収率 配布 364件 回収 324件 回収率 89.01%

○ アンケート集計結果（一部を抜粋して掲載しています。）

問7 児童にとってよりよい教育環境にするために重要だと思うこと（3つまで回答可）

「きめ細やかな指導が行われること」の回答が一番多く、次に「多様性・コミュニケーション能力が身につくこと」、「人間関係が固定化しないこと」の順となった。学校別の回答においてもほぼ同様の順位であった。



問8 小規模化についてどのように思うか

「どちらかといえば望ましくない」、「望ましくない」を合わせると46.9%となり、「どちらかといえば望ましい」、「望ましい」を合わせた29.8%を上回る結果となった。

学校別集計でもほぼ同様の傾向であった。

